



池田けい子 (公明党)

1. マンション問題を考える
2. 生理の貧困…その背景にあるもの

問 分譲マンションの長期修繕計画が的確に行われるよう、第三者調査診断の推進、及び市が実施している支援策の周知不足を、どう改善していくのか伺う。

答 重要な視点と考えている。今後もウェブサイトや広報、個々の管理組合への郵送やメールでの周知に努めていく。

問 被災した際、マンション共用部分の罹災証明書等の速やかな発行、復旧に対する専門家の派遣制度の設置を求めるとともに、耐震診断未実施棟への対応を伺う。

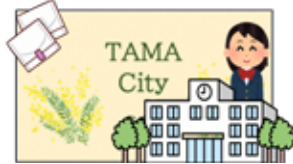
答 災害時に即応できるよう努め、耐震化を推進していく。

問 生理の貧困は経済的困窮のみが原因ではない。職員研修や市民へ広く理解を広め、継続的支援を要望するのはいかがでしょうか。

答 生命・人間尊厳・人権の問題と考えている。様々な要因がある事を理解し、組織連携と情報発信に努める。

問 学校では、安心して生理用品を手にとることができることが重要であり、生理に関する具体的な症状や対処方法などを学べる機会が必要と考えるのはいかがでしょうか。

答 自由に！とのメッセージと、学ぶ場を検討していく。



三階道雄 (公明党)

1. 新型コロナウイルス・ワクチン接種の進め方について
2. 多摩市のがん対策について

問 高齢者の方へのワクチン予約は混乱を起こした。寄添う気持ちと分かりやすさを徹底すべきではないか。

答 重要な指摘であり、検証し、次に繋げたい。

問 予約をあきらめた方、かかりつけ医で接種を待つ方、在宅療養者など、取り残された方の対応を早急にすべきではないか。

答 何らかの方法で早急に対応したい。在宅療養者は医師会と検討する。

問 当初の接種計画では、一般の接種が始まるにあたり集団接種を縮小し個別接種に切替えるとあったが、個別と集団の両輪で進めるべき。また駅や商業施設、土日や夜間など接種出来るようにすべきではないか。

答 個別、集団接種、接種しやすい環境など総合的に判断し検討したい。

問 がん対策については検診が重要であり、受診率の目標を立て挑戦すべきではないか。

答 部位別の目標を立てることを検討する。

問 胃がんの要因であるピロリ菌のABC検査も拡充すべきと考えるのはいかがでしょうか。

答 ABC検査も念頭に胃がんの検診を強化する。

問 闘病患者にアピアランス(ウィッグ等の外見)支援が必要であると考えるのはいかがでしょうか。

答 大事な視点、調査研究したい。



いいじま文彦 (新政会)

1. 聖蹟桜ヶ丘かわまちづくりについて
2. 民生委員の成り手の確保について

問 多摩市は国土交通省の「かわまちづくり制度」に登録した。多摩川河川敷をどのような公共空間にしたいか伺う。

答 聖蹟桜ヶ丘駅北側の多摩川沿いは、都内から電車に乗って多摩市方面に来ると最初に目に飛び込んでくる景色、まさに本市の北の玄関口だ。聖蹟桜ヶ丘駅で降りてみよう、あそこに行ってみたい、また来たい、住んでみたいと、多くの方に感じていただける魅力的な公共空間を、地域の皆様と一緒に作っていきたくと考えている。

問 多摩市は民生委員・児童委員の欠員地区が極めて多い。成り手を確保するための諸課題への対策を伺う。

答 行政主体による研修を実施する等、民生委員へのサポート体制の強化を図るとともに、会議の開催時間や地区単位での開催など、多様な手法への見直しや実施事務の共有化等を行い、活動の負担軽減やフォロー体制を強化する。引き続き自治会・管理組合や青少年問題協議会などの関係機関が行う会議に参加し、連携の強化や業務内容の一層の周知を図っていく。



松田だいすけ (新政会)

ICT教育の状況について

問 端末の利点と今後フル活用にあたっての課題について伺う。

答 内容の説明について写真や動画の活用により理解がより深められた。今後活用ルールと健康面の配慮が課題である。

問 学校での端末持ち帰りの検討について現在どのような場で検討が行われているか伺う。

答 多摩市教育ICT推進検討委員会を設置し、持ち帰りや家庭学習での活用を議論している。

問 1年間のメーカー保証後の対応について伺う。

答 保証延長はせず、修理費用の予算計上としている。今年度の修理費用の累積をみて引き続き検討する。

問 通信機器のいわゆる健康被害の懸念の声に対しての対応について伺う。

答 教育委員会に請願があり不採択となったが、健康面に関して丁寧に対応していくという附帯意見を付けた。

